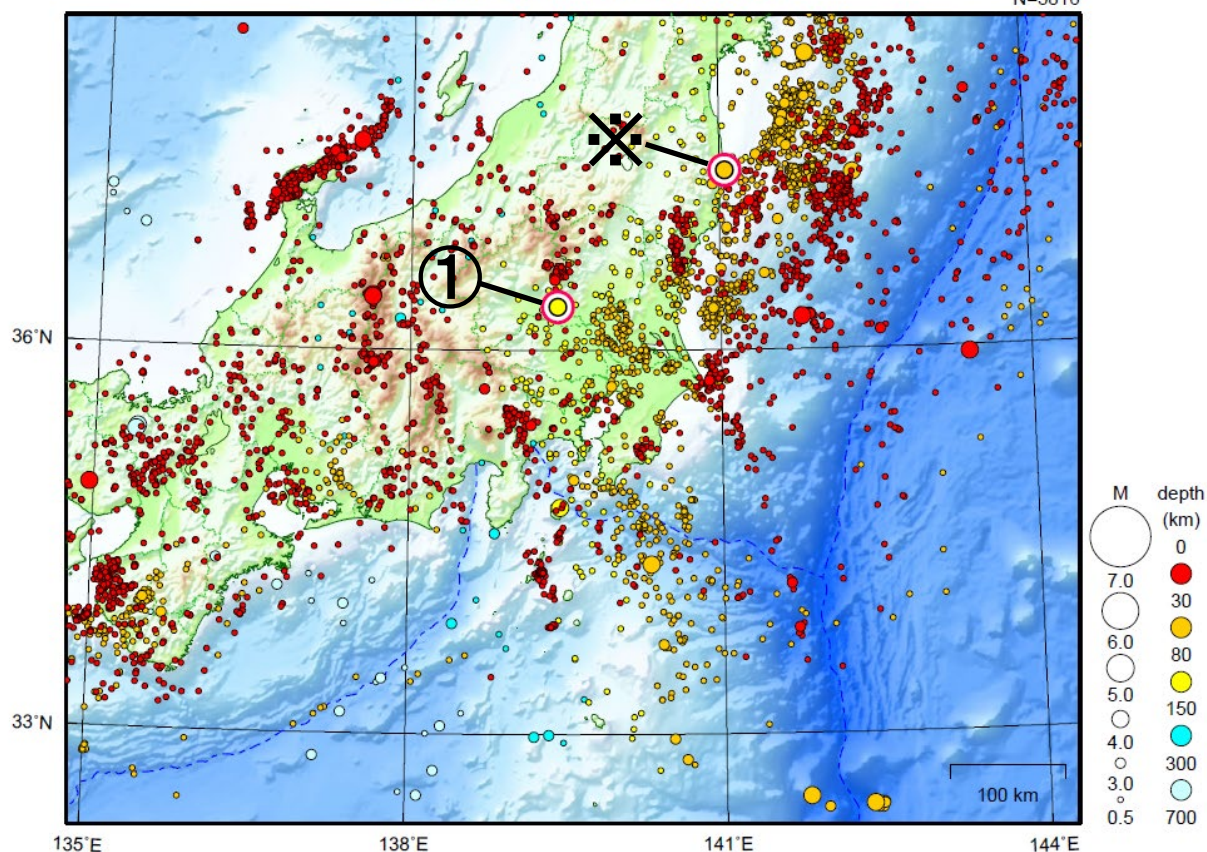


関東・中部地方

2026/03/01 00:00 ~ 2026/03/31 24:00

N=5816



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

① 3月15日に群馬県南部でM4.5の地震(最大震度3)が発生した。

(図の範囲外)

3月2日に硫黄島近海でM6.2の地震(震度1以上を観測した地点はなし)が発生した。

(期間外)

4月1日に茨城県南部でM5.0の地震(最大震度5弱)が発生した。

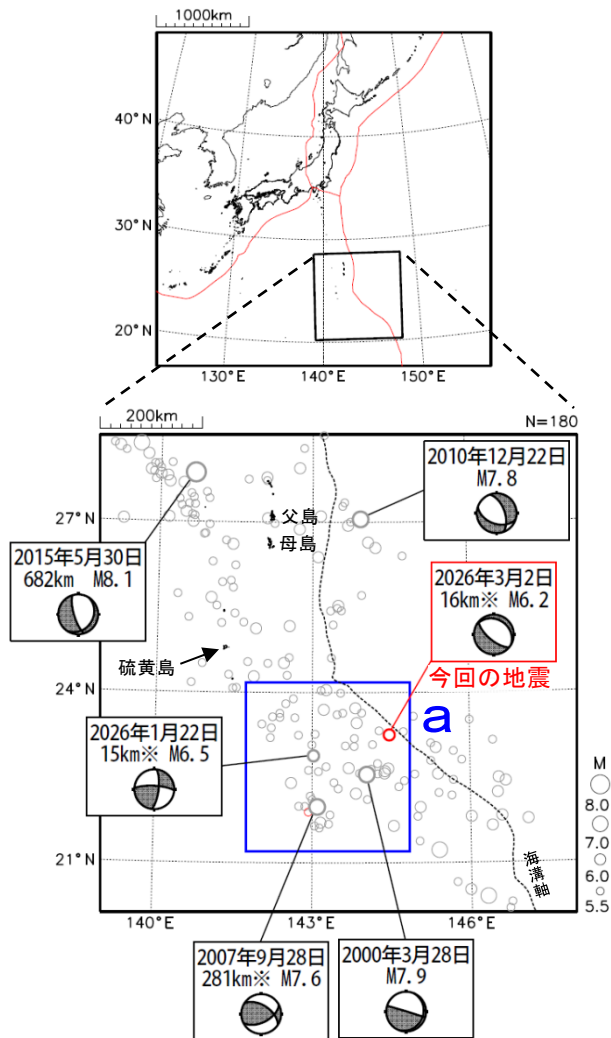
※で示した地震については東北地方の資料を参照。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

3月2日 硫黄島近海の地震

震央分布図
 (2000年1月1日~2026年3月31日、
 深さ0~700km、M \geq 5.5)
 2026年3月の地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解
 深さに「※」を付したものは、CMT解による



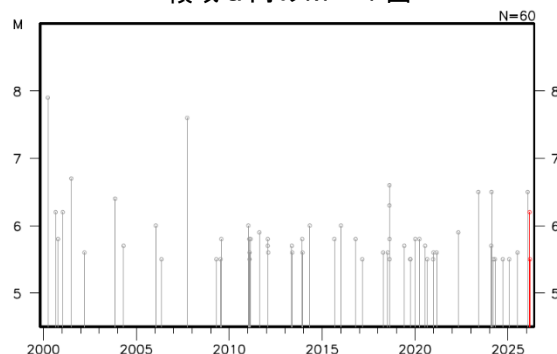
2026年3月2日 12時55分に硫黄島近海の深さ16km (CMT解による) でM6.2の地震 (震度1以上を観測した地点はなし) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

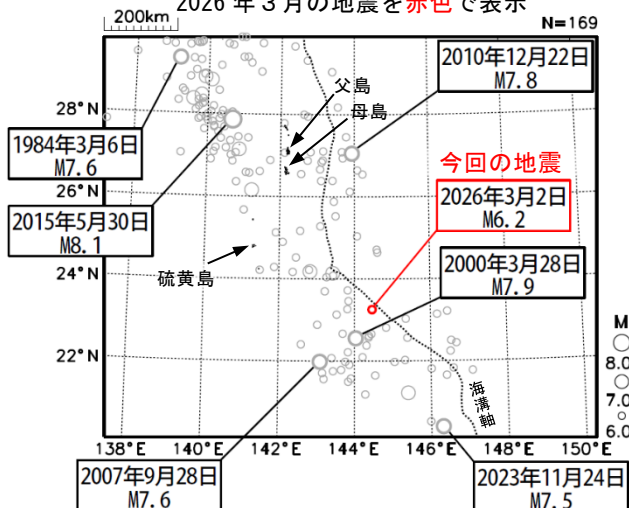
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海でM7.8の地震 (最大震度4) が発生し、八丈島八重根で0.5m (注) の津波など、岩手県及び関東地方南部から沖縄地方にかけて津波を観測した。また、2015年5月30日には小笠原諸島西方沖の深さ682kmでM8.1の地震 (最大震度5強) が発生し、関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

(注) 巨大津波計の観測点により観測されたことを示す (観測単位は0.1m)。

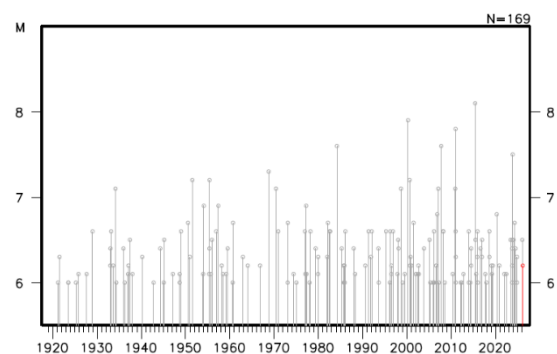
領域a内のM-T図



震央分布図
 (1919年1月1日~2026年3月31日、
 深さ0~700km、M \geq 6.0)
 2026年3月の地震を赤色で表示



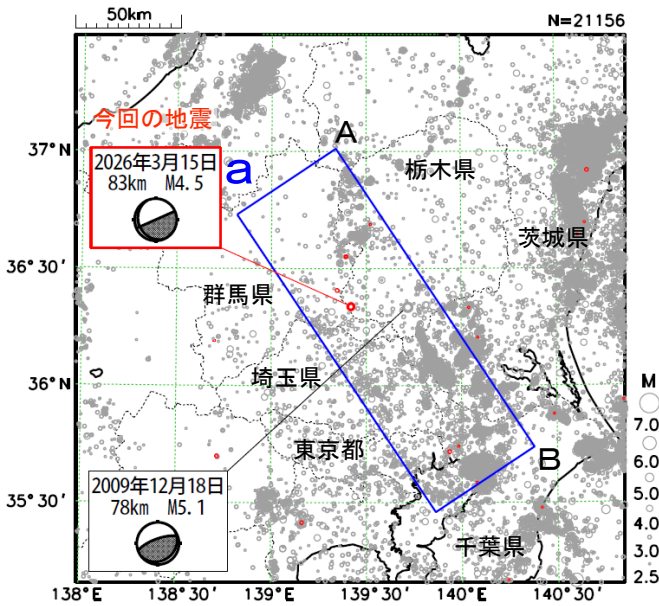
左図の領域内のM-T図



3月15日 群馬県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2026年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)
2026年3月の地震を赤色で表示



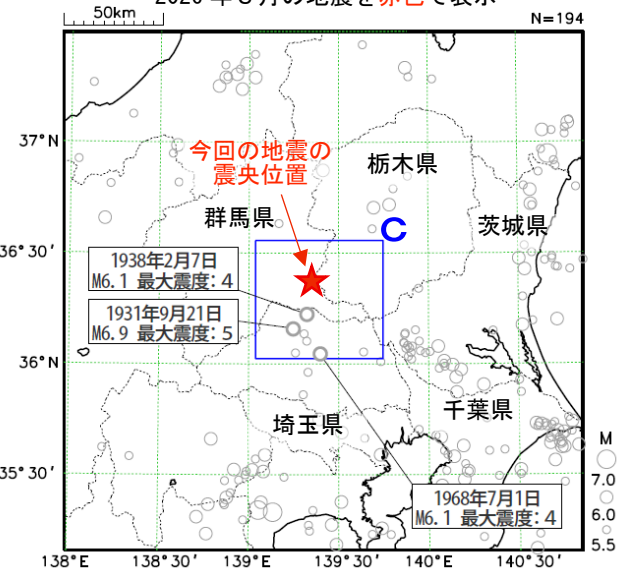
2026年3月15日14時06分に群馬県南部の深さ83kmでM4.5の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構は、フィリピン海プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM4.0以上の地震が時々発生している。2009年12月18日には深さ78kmでM5.1の地震 (最大震度4) が発生している。

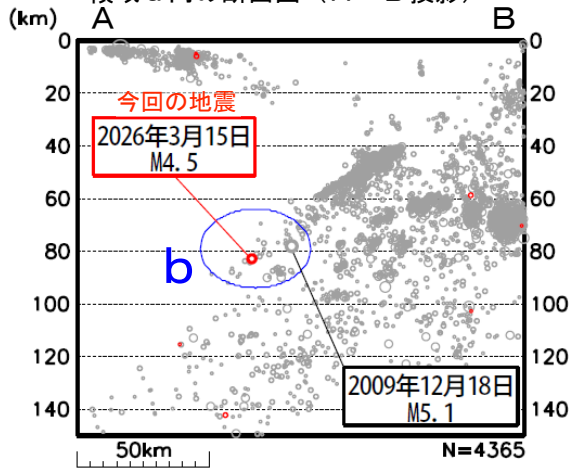
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がまれに発生している。1931年9月21日にはM6.9の地震 (最大震度5) が発生し、死者16人、負傷者146人、住家全壊76棟、住家半壊124棟などの被害が生じた。(被害は「日本被害地震総覧」による。)

震央分布図

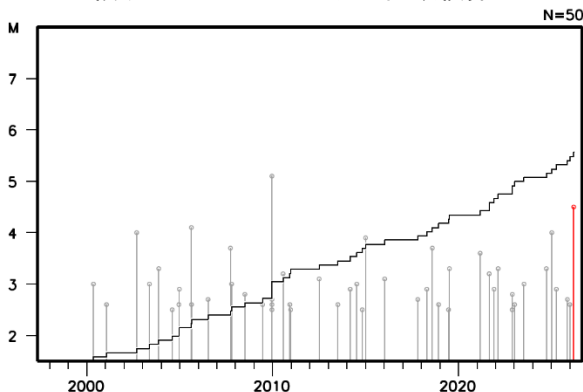
(1919年1月1日～2026年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.5$)
2026年3月の地震を赤色で表示



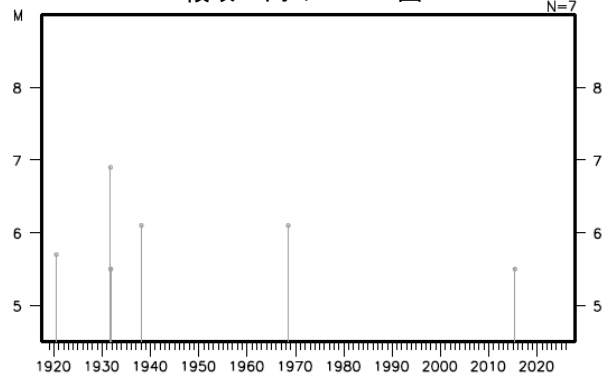
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

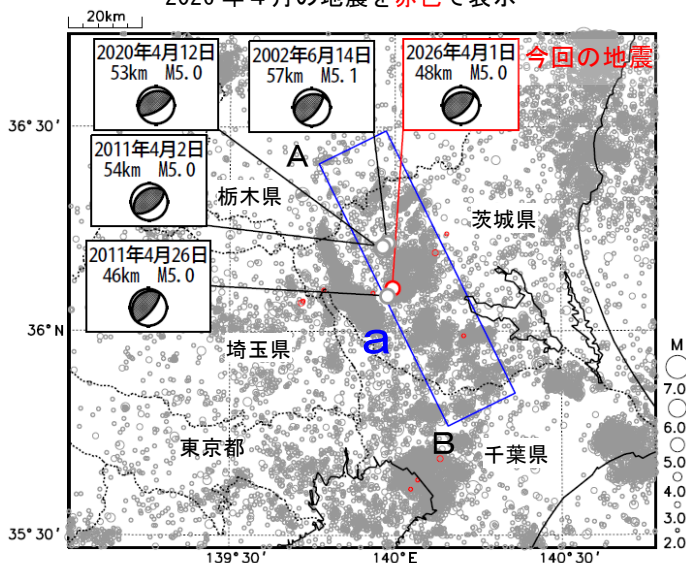


領域c内のM-T図



4月1日 茨城県南部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2026年4月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2026年4月の地震を赤色で表示

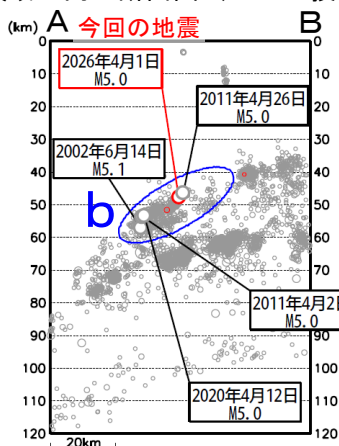


2026年4月1日10時06分に茨城県南部の深さ48kmで $M 5.0$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

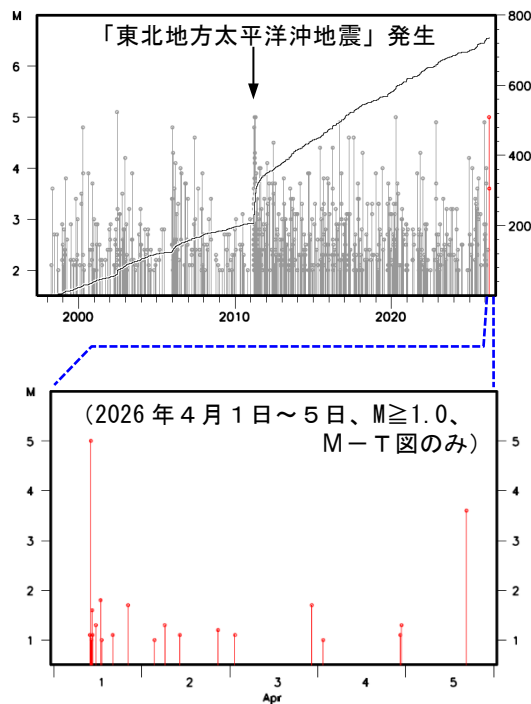
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は地震活動が活発な領域で、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)発生以降、より活発になった。2002年6月14日に $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生し、負傷者1人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2026年4月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2026年4月の地震を赤色で表示

